



みなさんと議会をつなぐ



議会だより

平成 28 年 5 月
発行：比布町議会
編集：議会広報特別委員会

PIPPU TOWN ASSEMBLY



今はちょっと不安だけど、楽しみだね！ くるみ保育園入園式 4月1日

- 審議結果「3月定例会」…………… 2～3
- ここが聞きたい一般質問…………… 4～6
- H28年度予算審議…………… 7～11
- 常任委員会報告…………… 12～15
- 議会のうごき…………… 16

第1回 定例会

3月7日（月曜日）～3月10日（木曜日）



平成28年第1回定例会は、3月7日から3月10日まで開催されました。今定例会には、平成28年度予算をはじめ、新比布駅の完成による比布町中心市街地観光交流施設設置条例の制定をはじめ29件の議案審議があり、全て原案のとおり可決されました。なお、紙面の都合上、その内容の趣旨のみを掲載させていただきます。

事務の委託

比布町と旭川市において、平成28年4月1日から行政不服審査法の規定に基づく第3者機関の設置及び運営に関する事務を旭川市に委託

条例

◆比布町中心市街地観光交流施設設置条例の制定

昨年から工事を行なっていた『比布駅』完成に伴い、設置条例を制定し、町内外に比布町の魅力を発信し、中心市街地の活性化を図ることを目的とするもので、原案のとおり可決されました。

◆比布町介護保険条例の一部を改正する条例

マイナンバー法施行に伴い、介護保険法が改正されたことによるもの、刑事施設等に拘禁された者についての減免規定の一部変更で、原案のとおり可決されました。

◆比布町営住宅管理条例の一部を改正する条例

避難されている住民の方々が円滑な帰還を促進するため、福

島復興再生特別措置法が一部改正され、条文が繰り下がったことによる改正で、原案のとおり可決されました。

◆比布町行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定

処分に関し国民が行政庁に不服を申し立てる制度（不服申立て）について、関連法制度の整備・拡充等を踏まえ、①公正性の向上（審理員による審理手続・第3者機関への諮問手続）、②使いやすさの向上（不服申立手続を「審査請求」に一元化）、③国民の救済手段の充実・拡大の観点から、制定後50年ぶりに抜本的な見直し（審査請求をすることができ期間を3か月に延長）を行なった。

これに伴い一括して6本の条例を改正するもので原案のとおり可決されました。

◆比布町私債権の管理に関する条例の制定

履行期限までに納付いただいていない私債権（主に上下水道料金、町営住宅使用料）に関する統一的な基準の整備、債権管理の適正化を図る等の事務処理方針を規定するもので、原案のとおり可決されました。

◆議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

◆特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

昨年行われた人事院給与通告及び特別職報酬等審議会の答申に基づき改正を行なうもので、原案のとおり可決されました。

◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院給与通告に基づく改正、行政不服審査法の改正に伴う改正で原案のとおり可決されました。

◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法及び学校教育法の一部改正に伴う条文の追加等で原案のとおり可決されました。

◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

特別職報酬等審議会の答申及び28年度から採用を予定している地域おこし協力隊に対する報酬の追加で、原案のとおり可決されました。

◆職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法の改正による条

文の移動で、原案のとおり可決されました。

◆比布町税条例の一部を改正する条例

本年4月1日から行政不服審査法が公布されたことにより一定の手続きにおける個人番号の利用取扱いを見直す改正で、原案のとおり可決されました。

◆固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

行政不服審査法の全部改正に伴う改正で、原案のとおり可決されました。

◆比布町過疎地域自立促進市町村計画の制定

平成12年に制定された過疎法は平成27年度で計画義務が廃止になりましたので、平成28年度から32年度までの計画を策定するもので原案のとおり可決されました。

補正予算

◆平成27年度比布町一般会計補正予算(第5号)

診療所業務委託事業費の増2千24万2千円、担い手活動支援事業22万7千円の増等、年度末による精査が主な補正で原案のとおり可決されました。

◆平成27年度比布町国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定)(第3号)

療養給付費負担金1千717万7千円を増額する等、年度末精査で原案のとおり可決されました。

◆平成27年度比布町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

後期高齢者医療広域連合納付金120万円の減額で、原案のとおり可決されました。

◆平成27年度比布町介護保険特別会計補正予算(第2号)

介護サービス給付費等2千459万9千円を増額する等で原案のとおり可決されました。

◆平成27年度比布町観光事業特別会計補正予算(第3号)

時間外手当49万円の増で原案のとおり可決されました。

◆平成27年度比布町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

建物管理事業48万4千円を増額する等の年度末精査で、原案のとおり可決されました。

◆平成27年度比布町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

下水道施設維持管理費事業費134万3千円の減額等の年度

●●●●● 会計補正額と補正後の総額 ●●●●●

会計区分		補正額	補正後の総額
一	一般会計(第5号)	9,662千円	4,059,882千円
特別会計	国民健康保(第3号)	4,458千円	672,955千円
	後期高齢者医療(第2号)	△1,200千円	63,268千円
	介護保険(第2号)	19,398千円	563,411千円
	観光事業(第3号)	490千円	117,235千円
	簡易水道事業(第2号)	△501千円	240,300千円
	公共下水道事業(第2号)	△3,580千円	107,100千円

() 内は補正回数

末精査で原案のとおり可決されました。



Q

子育て支援について伺います

A

特別支援コーディネーターを
配置していただき
親子行事等を利用して
相談してほしい

クラウドファンディングとは？
町が行う事業に対して広くその資金を集める手法のこと。ふるさと納税もその手法の一つ。

植西議員 子育て支援についてはそれぞれ町によって特徴があります。私は発達障がいへの対策をまちづくりに関わり込んではどうかと考えていますが町長の考えを伺います。

伊藤町長 町で現在行っている乳幼児検診で十分ではないかと考えます。これを基本に親子へのサポートをさらに充実していきたい。また、発達障がいが多岐にわたっているため全ての状態を把握することは難しく専門家の中でも意見の分かれるデリケートな問題です。

植西議員 小中学校の普通教室に3割程度いるというデータがある発達障がいに対しての意識を変えてもらうことが大事です。そしてこの意識を変えていかないとその度合いが理解されずに大人になって困り感を抱えそのまま生活することになります。そこで周知が必要だと考え

ていますが町長のお考えを伺います。

伊藤町長 発達障がいという言葉一つとっても非常にデリケートな問題です。そのため、発達障がいの状態とはどういうものなのかと言う情報提供は可能だと思えます。

植西議員 小中学校にこの発達障がいの知識を持っている教諭はしっかりと配置されていますか。また、発達障がいに対するニーズを把握するために何かされていますか。

伊藤町長 特別支援コーディネーターを配置しており、体制は十分だと思えます。また町で行っている親子向けの事業に参加した際、気づくことができればと考えています。

植西議員 小中学校の教諭の中に特別支援の免許を所有している方は2名ほどしかないという聞いております。また文科省ホ

ームページには都道府県市町村教育委員会や全日本中学校校長会の意見として専門家が少なくことが指摘されています。

またこのようなニーズを認識するためにも町民からの公聴は必要だと思えます。また、公聴する体制にも専門家や専門的知識を持って司会進行をするファシリテーターを配置し潜在的ニーズを引き出すことも必要だと思えます。

伊藤町長 今、町でも出前講座など話しを聞く体制を作っています。是非、このような機会も利用して町に思いを伝えて欲しいと思えます。

『クラウドファンディングについて』

植西議員 町の財政を補填する手段としてクラウドファンディングについて議論されていま

す。比布町ではどのように考えていますか。

伊藤町長 様々な形態があるようですが一般会計に組み込むことは必要額に達しなかつた場合のことを想定すると無理があります。しかしながら現在行われているボランティア活動でまかなわれている事業へのサポート資金という形では十分活用できる可能性があります。また別の側面から考えて公募化する場合にまちの魅力に対して資金調達するわけですからその発信にもつながります。いずれにしてもまだ先例の少ないことなので情報収集し、研究します。

植西議員 町の魅力発信の方法としてこのクラウドファンディングを活用することはその魅力を客観的に認めてもらうことにもなり、その事業を継続する根拠ともなり得ます。さらにまちづくり懇談会などでの要望を実現する方法としてふるさと納税と言うやり方があります。

伊藤町長 ふるさと納税の返礼品を設定する方法については賛否両論ありますがやはり比布の魅力を発信することにつながるため、この制度もうまく活用したいと思えます。



Q

スポーツ少年団への
支援強化について

A

他町との持ち方については
今後広がる可能性もあるので、
検討していきたい

遠藤議員

当麻町少年団から比布中央小に入団の呼びかけがありました。ある方から団体スポーツを子どもにさせたいが選択肢がなく、行かせたいが交通手段がなく悩んでいますと相談がありました。今は行政・福祉関係は広域連携ができていますので、今後は教育行政のスポーツ少年団でも支援が必要になって来ているのではないのでしょうか。

広域連携を教育の分野でも視野に入れていくことを考えていただきたい思いから、子育て支援の拡充を教育長に伺います

谷教育長

スポーツ少年団活動の意義はますます重要になっており、子どもが得るものは大きなものがあると思います。登録団体は、野球・ソフトテニス・剣道・卓球・スキーの5団体。どの少年団も団員を集めるのに大変苦労されている状況にあります。管内・全道大会

や全国大会に出場しています。ボランティアによる指導者と保護者の温かい支えがあつてのことです。

他町と合同でのチームづくりが広がっていくことが予想されますが、交通手段の確保について近隣1市7町に確認したところ、指導者や育成会で対応していますので、ご理解願います。

遠藤議員

日々の子どもの成長を見て、団体スポーツをさせたいとの親の願いが何年も前から町長への手紙などで、実情を変えられないかと訴えています。問題が投げかけられていた。少年団全体の支援強化で何らかの打開がはかれるのではありませんか。

谷教育長

他町との連携については、今後広がる可能性もありますので、検討していきたいと考えます。

『比布町地域おこし
協力隊』の受け皿づくりを

遠藤議員

今、アベノミクスの地方創生で人口減少地域の疲弊に対し、都会からの雇用を増やし地域を元気にしようとの政策誘導で全国でも町おこし協力隊の募集が行われ、町もすでに協力隊が活動している情報を聞いています。

しかし、知人もいない中で新天地での仕事をするのは大変な苦勞をとまいます。パソコンができ地域住民と協力しながら活動に取り組める意欲のある方、活動終了後は比布町で起業・就業できる方と募集に期待が寄せられています。大変ハードルが高いと思います。受け入れる行政担当者、各種団体、行政区などの協力も求められています。来たれチャレンジャーの呼びかけがありますが町長の考えを伺います。

伊藤町長

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持、強化を図っていくことを目的に平成21年度から始まった制度です。

具体的には、住民票を移動し、生活の拠点を移し、地方自治体が「地域おこし協力隊」として委嘱し、特産品開発やイベント等の地域活動になつてもらうものです。

商工業の担い手、後継者不足が課題で、将来的に町内で起業をめざす方を募集しています。1人あたり2百万円を上限に特別交付税による財政措置、活動期間終了後に起業をする場合、1人あたり百万円を上限に支援します。

まちづくりの主体は、町全体が担うものであり、協力隊だけに過度な責任をおわせ、結果的にお互い不幸な結果をまねいてしまう他の自治体の失敗例が見られますので、役場関係部署、商工会青年部の皆さんと連携をおこない、受け入れ体制を整えています。



Q

平成28年度

町政執行方針について伺います

A

議員の皆さんのご指導を頂きながら「やすらぎと夢があふれるぴっぷ」を目指してまちづくりを進めたいと思います

山内議員 先日、町長から平成28年度の町政執行方針が示されました。町政執行方針は、1か年間の行政運営と予算の根幹となるものだと思えます。町長が町民と結ぶ「約束」でもあり、議員は、その約束がしっかりと果たされているか監視し、時には軌道修正していくことが役目であると思えます。町政執行方針はその年度の最も重要なものであると考えます。

庁舎内では前年度の執行方針を十分な総括と検討を行い、町民との約束がしっかりと果たされたか、どの様な問題があったか、取り組みをどう評価しているかなど、町民に対して報告することも必要ですし、施策の取り組みについても適正な評価なくして、次年度の計画を示すことは出来ないと思えます。

町長は昨年度の執行方針で、今年同様に主要5項目の施策に

ついて述べられていますが、その達成状況、課題、1か年を通しての施策の評価などの総括を伺います。

伊藤町長 町政執行方針は、1か年間の行政運営をどう進めるかという私の考え方や思いを示すものであり、町民の皆様に対する約束であると認識しています。私のまちづくりに対する思い、考え方を基に地域を取り巻く情勢や、町民の皆様の考えや想い、価値観の変化、国や道の制度改正、財政状況の判断もしながら、執行方針を示させていただきます。

町民の皆様喜んでもらえる施策については、様々な課題や新たな方向性の検討等が必要で、良いものにするよう努めていると認識をしています。また、議員の皆さんにも議会を通して監視もしていただいていると思えますし、必要な時には軌

道修正にご意見も頂いているものと思っています。

しかし、執行方針が予算も含めて、ある程度は実行出来ていると思えますが、万度出来ているかという点、出来ていない部分もあり、率直に反省する必要があると思います。

今後は議員の皆さんのご指導も頂きながら「やすらぎと夢があふれるぴっぷ」を目指して執行方針の充実を図りながら、まちづくりを進めたいと思えます。

『平成28年度教育執行方針について』

山内議員 昨年4月に国の新しい教育委員会の制度に伴い、本町でも10月からスタートしました。新教育委員会制度になって、本町の教育行政に問題は無かったか、また社会教育、特に

道徳教育について施策に変化が生じるのではないかと私は思いますが教育長に伺います。

谷教育長 新たな教育委員会制度については、教育長の判断で教育委員会への迅速な情報提供や教育委員会議の招集が可能となり、また町長の判断により緊急に総合教育会議を開いて、講ずべき措置について教育委員会と協議・調整を行うなど、より迅速な措置が講じられるようになりました。本町の教育行政についての問題点ですが、特に大きな課題はありません。

道徳教育については、これまで小中学校の道徳の時間は教科外の活動という位置付けでありましたが、「特別な教科」として教科に格上げされ、小学校は平成30年度、中学校は平成31年度から教科書に基づく授業が行われることになりました。

社会教育については本町の施設を利用して小学校のスポーツ少年団、中学校の部活動等々を有効的に利用している状況です。

予算総額 66億3千193万8千円

平成28年度当初予算を可決

新年度予算について、議長を除く議員8人で構成する予算特別委員会（委員長 中本 諭）を設置し、3月9日、慎重に予算審議を行いました。

定例会最終日の3月10日、中本委員長から「委員会として平成28年度予算を採択すべき」との審査結果報告があり、本会議で採択の結果、総額66億3千193万8千円の予算を原案のとおり全会一致で可決しました。



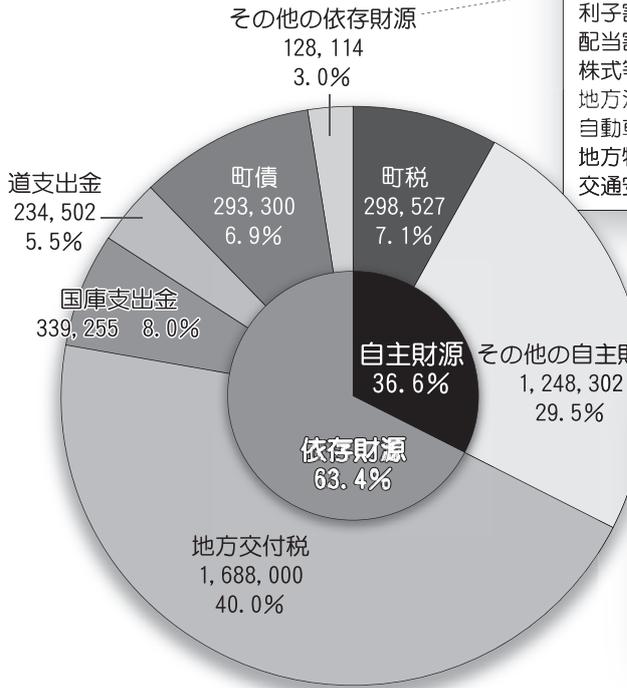
予算特別委員会の様子

区分	本年度予算額	前年度予算額	増減
一般会計	4,230,000千円	4,010,000千円	5.49%
国民健康保険特別会計	657,090千円	652,724千円	0.67%
後期高齢者医療特別会計	61,945千円	64,461千円	△ 3.90%
介護保険特別会計	564,366千円	525,150千円	7.47%
観光事業特別会計	778,912千円	107,245千円	626.29%
簡易水道事業特別会計	242,911千円	239,844千円	1.28%
公共下水道事業特別会計	96,714千円	107,572千円	△ 10.09%
合計	6,631,938千円	5,706,996千円	16.21%

一般会計歳入歳出予算 42億3千万円

歳入

(単位：千円)



【その他の依存財源内訳】

地方贈与税	48,500
利子割交付金	390
配当割交付金	1,204
株式等譲渡所得割交付金	620
地方消費税交付金	70,000
自動車取得税交付金	5,800
地方特例交付金	800
交通安全対策特別交付金	800

【その他の自主財源内訳】

分担金及び負担金	16,144
使用料及び手数料	498,888
財産収入	5,735
寄附金	20
繰入金	605,764
繰越金	20,000
諸収入	101,751

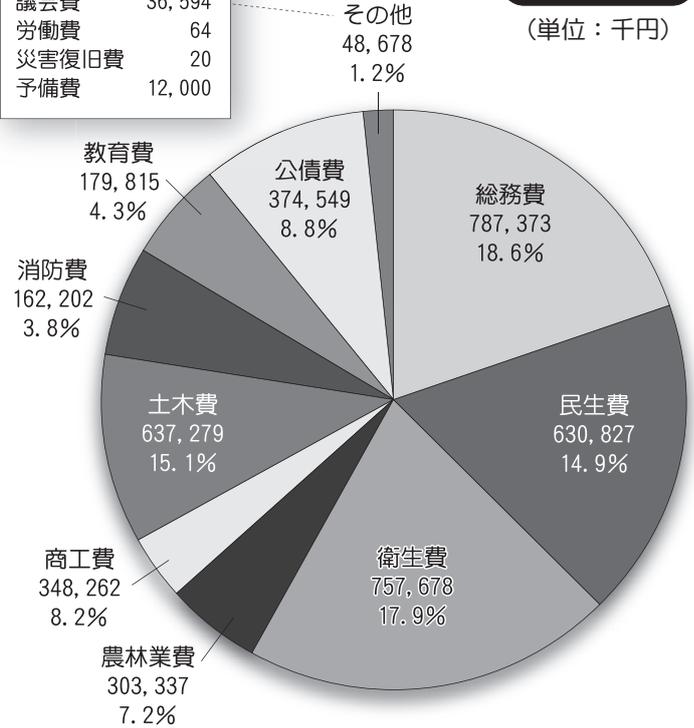
予
算
審
議

歳出

(単位：千円)

【その他の内訳】

議会費	36,594
労働費	64
災害復旧費	20
予備費	12,000



【条例関係】

遠藤委員 私債権管理条例で滞納チームの対応は変わりますか。

総務企画課参事 滞納プロジェクトチームは今までと同じ扱いです。

今井委員 住宅家賃の滞納は水道料金とも重複していると思うので、保証人への対応を適切にしてもらいたい。

総務企画課参事 当然、必要な措置は講じます。

今井委員 比布は他の町より公住が多く、私債権管理条例を悪用されても困るので十分検討していただきたい。

総務企画課長 滞納プロジェクトチームで慎重、適正に一定の考え方を検討していきます。

一般会計【歳入】

町税関係

八巻委員 町税と固定資産の滞納繰越額で町税が90万9千円、そして固定資産が109万9千円の算出根拠は何ですか。

税務住民課長 現在残っている滞納金額に対して収納率の考えで滞納整理機構に引き継いだ分に對して、収納率は20%を収納金

額、町執行分は、12%の収入見込みで計上しています。

山内委員 現年課税分の対象者は何名ですか。

税務住民課長 給与所得者、農業所得者、営業所得者、その他の所得者全て合わせて、課税所得者人数が1千384人です。

今井委員 民生費道負担金の障害者福祉費負担金減少理由は、保健福祉課長

更生医療費の対象者が減少し、道費の申請額も落ちたのが理由です。

財産収入関係

遠藤委員 雪番屋の家賃について何か基準はありますか。

総務企画課長 占用料の根拠はあり、以前は徴収していました。現在は諸般の事情により徴収していません。

一般会計【歳出】

総務費関係

遠藤委員 マイナンバーについて、情報漏えいに対するセキュリティ対策など強化されたところはありますか。

総務企画課参事 庁舎内の情報漏えいセキュリティ強化について

は、庁舎内専用の線、国との線、一般的な線の3つの線に完全に分離して運用をしていきます。

遠藤委員 比布駅の防犯カメラについて、駅に防犯カメラを設置するのは、義務ですか。

総務企画課長 防犯カメラの必要性は、犯罪の未然防止ということ

ともあり必要と判断しました。不特定に画像を撮影することから、個人情報関係等もありますので、慎重に取り扱います。

武井委員 町民研修事業費の内容を教えてください。また、この事業費を後継者の視察にも活用していただきたい。

質問する武井委員



総務企画課長 町内外視察研修会や講演会を数回開催したいと思っています。

民生費関係

遠藤委員 びびたぐの利用条

件が厳しいという声があります。新たに条件が制限されたのですか。また、2台目を考えているのでしょうか。

保健福祉課長 車の台数は現状通りの1台で、新たに制限を設けたということはありません。

植西委員 びびたぐ2台なら費用がかかるので、バスを活用し利用予約がない場合は運行しない方法もあるのでは。

伊藤町長 いろいろな例も含め総合的に研究したいと思えます。

衛生費関係

佐藤副委員長 比布診療所の補助予算について、5か年契約更新の昨年度で、今後の病床維持と補助予算額が契約締結の条件として、何故、病院側と協議されていないのですか。

保健福祉課長 収支報告書の提出も遅れ具体的な話しも無かったです。事務長不在も影響したと思います。

伊藤町長 率直に反省をさせていたいただいて、お互いに良い形で町民の皆さんに喜んでいただけるクリニックにするように、努めてまいります。

今井委員 総合検診の受診率は、病気の早期発見、予防のために必要です。そして生保の方の受診率が低いのが十分周知してありますか。

保健福祉課健康係長

受診率は3月8日現在53・8%。目標は54%。受診していただけるよう足を運んでお願いしています。健康診査という内容で、生保の方には総合健診と全く同じ内容で受けていただいています。今後福祉の方とも相談し、受診者を増やしていきたいと思っています。

農林業費関係

遠藤委員 遊湯びつぷのロビ1のたばこの煙の対策は、新年度に入っていますか。苦情はなですか。

産業振興課長

入っていませんが、今年に入り初めて煙に対しての話があり、28年度中は難しいが、喫煙室が出来るかどうか業者に見てもらいました。

商工費関係

植西委員 地域ふれあい館にいろんな所に行く案内板が必要だと思えます。設置する用意がありますか。

産業振興課長

平成26年に一度整理したので、立て看板にちよつと加えるように手作りで作成したいと思います。

山内委員 観光バス運行事業で、今まで事故は起きませんでした。民間に委託する考えと運転手の健康管理について伺います。

産業振興課長

民間委託は考えていません。今後も安全運行を努めて行けるような体制で、運転手の健康診断も義務付けています。

建設費関係

佐藤副委員長 近年、国・都道府県の発注機関では、情報開示が進み工事情報が逐次公表されています。適切な情報開示を行なっていたらいい。

建設課長

適切な情報開示の在り方について内部でも十分検討し、しっかり対応したいと思っています。

植村副町長 新年度から指名委員会の中で検討したいと思えます。

八巻委員 道道ではドーザーを使用して門口も除雪してくれています。町道もそういう除雪体制にはなりませんか。

質問する八巻委員



建設課長 町道の除雪は従来どおりですが、今後とも路線に見合ったきめ細かな除雪体制を効率的に進めていきます。

消消費費関係

八巻委員 農家地区の消火栓の間隔が遠いので不足していませんか。年1基の予算ですが、冬期の水確保は大変で消火活動に支障を来たしませんか。

消防署長

農家地区は、家屋が点在しているので苦慮しています。街の状況は、半径120

メートル以内に1基付くように配置しています。足りないところもあるので随時検討していきます。

教育費関係

遠藤委員 学校給食について、今後TPPにより外国依存が高まると思いますが、安全なもの子ども達に食べさせたいと思いますので、地元食料率を教えてください。

生涯学習課長

食料率は出していないですが、お米、野菜はハウレン草、小ねぎを使わせていただいています。個別契約の予定はありませんが、仕入れ業者は町内1、町外2の割合です。出来るだけ食料率は増やしたいと思っています。

山内委員 比布中学校改築事業について有利な財源ができれば教育長は28年度進めるとありますが、新聞では中止と載っています。どういふふうに解釈したらいいのでしょうか。

谷教育長 次年度以降有利な財源があれば施行したいと考えています。

植西委員 比布中学校の体育館の床張りや窓枠劣化による修

繕の計画はないのですか。
生涯学習課長 中学校建築を見据えて必要な場合は対策を取らなければならぬと考えています。

介護保険会計【歳入・歳出】

今井委員 今年度から要支援、1、2の支援分は自治体で行なうということですが、利用者が受けるサービスの個人負担分は今後変わりますか。

保健福祉課長 要支援1、2の通所サービスと訪問介護が移行で名称も訪問型サービスと通所型サービスに変わります。サービスの利用は町が実施する基本チェックリストに基づいてサービスの判定をして行くということで、要介護認定審査が省略でき、早期にサービスを利用できます。

利用者からの負担分については、今までどおりで変わりません。負担を生じさせるだとか、無理が無いように進めます。



観光会計【歳入・歳出】

佐藤副委員長 スキー場センターハウスの工期については、平成28年度の発注、シーズン前の完成を目標とした場合、適切な工程管理・安全管理が担保出来るか伺います。

産業振興課長 安全第一を最優先に万全な体制で竣工を目指します。

武井委員 スキー場エリアのリニューアルに際し、リフト料

金は見直しをした金額でしょうか。リフト収入以外にも新たな収入源とはどのようなことを想定していますか。さらに夏場の利用は何か想定していますか。

産業振興課長 シュミレーションした新たなリフト収入で、計上しています。リフト収入以外の収入は、リフトの椅子の背もたれの後側面に広告をしようというような考えです。夏場の利用は事業費がいくらかかるかわかりませんが、グラススキーを想定しています。

八巻委員 12月の積雪の遅れ等で雇用に対する不安があり、スキー場従業員の確保は出来るのですか。

産業振興課長 28年度は昨年の賃金より100円アップで32人分の人件費を計上しました。

総括質疑

遠藤委員 建築工事が多額となり、町の財政は大丈夫かとの不安の話があります。今後庁舎建設もあるので住民説明会等を開催しては。

伊藤町長 庁舎を建設するとなれば、町民の声も聴きたいと思っている。

今井委員 今後職員の業務が膨大して行く中で職員定数68人は適正だと思えますか。機構改革も必要ではありませんか。

伊藤町長 何人が適分か分らないが、どの課の職員も頑張ってくれている。まちづくりを進めるうえで足りないと感じている。今後は機構改革も必要かもしれないが、分けることも視野に入れて行きたい。

委員会の活動

activities

産業建設常任委員会

▼▼▼2月16日開催



今井 委員長

【建設課】

《報告事項》

・ 諸工事の発注及び進捗状況について

《協議事項》

・ 平成27年度一般会計補正予算(案)について 主なものの道路維持費

▲1千931万7千円

除雪ドーザ購入執行残等

住宅管理費

▲222万4千円

LED化による光熱費の減等冬期工事により弊害はないか。

・ 簡易水道特別事業会計補正予算(案)について

・ 公共下水道事業特別会計補正予算(案)について

・ 新たな町営団地整備計画について

緑町くるみ団地

平成28年度から3か年計画

1棟2階8戸

計3棟24戸

① ユニバーサルデザインの採用

② 省エネルギーと多様化する住み方への工夫

③ 建物による町づくりと開放感のある児童遊園

④ 雪と共存できる住環境整備

以上を設計コンセプトにしています。

公営住宅に使われてるユニバーサルデザインって何？



・ 公営住宅等長寿命化計画の変更について

東団地、昭和49年度から昭和52年度建設住宅9棟を平成32年度までに建て替え予定

新町団地、昭和52年度から昭和55年度建設住宅8棟を平成35年度までに建て替え予定

今後の建て替え予定、1階・2階のロケーションが異なるので今後検討

・ 平成28年度予算(案)について 主なもの

蘭留市街地区除雪委託業務
ロータリー専用車購入
橋梁点検委託業務

簡易水道事業・公共下水道事業は料金・使用料の見直し等検討委員会の立上り必要等

・ 現場視察
西町駅前団地B棟
比布駅

【商工・観光部門】

《報告事項》

・平成27年度「ぴっぷススキー場」リフト収入状況
4千368万3千409円
前年度66.35%

(2月7日現在)

・今年度から「北海道シーズンネット」加盟 利用は順調

・「遊湯ぴっぷ」入館者数実績
1万3千456人
前年度98.0%

《協議事項》

・ぴっぷススキー場センターハウス修正実施設計について

・厨房を一か所、休憩スペース約300名等、協議を重ねた結果の最終設計となりました。

・契約内容等は次年度

・平成27年度補正予算(案)

・商工業振興事業の増
・町内事業所事務所の改築支援・競争力強化事業支援・特産品開発事業等

・平成28年度予算(案)について
主なもの

・センターハウス建設
第2リフト照明修繕
ロープリフト更新
雪番屋の管理維持
遊湯ぴっぷ施設修繕等々

【農林部門】

《報告事項》

・平成27年度 米集荷実績
・平成28年度 米の生産数量目標

6千685.288ト
1千159.9ヘクタール

《協議事項》

・平成27年度補正予算(案)

・農林業費補助金等の事業結果に伴う増減
・交流促進施設費(遊湯ぴっぷ) 燃料用重油の価格低下により補てん額の減
・平成28年度予算(案)について
主なもの
・日本型直接支援事業(多面的・中山間・環境保全)

経営体育成支援計画耕作条件改善事業(拓進地区)
森林整備地域活動支援等々

【農業委員会】

《報告事項》

・平成27年度農業経営基盤強化促進法による農用地集積状況
「農地利用集積計画」所有権移転総数 59件
1万6千922ヘクタール

《協議事項》

・平成27年度農業委員会補正予算(案)

・農林業費道補助金 73万円
・平成28年度農業委員会予算案について
主なもの
・農地情報管理システム保守管理費

皆さんも議会の傍聴しませんか

次回の定例会は6月に開会の予定です

詳しい日程は、無線放送等でお知らせしていますので、ご留意ください。

◆皆様の傍聴をお待ちしています。◆

※3月の議会は16名の傍聴がありました。



総務常任委員会

▼▼▼2月19日開催



佐藤 委員長

【税務住民課】

《報告事項》

- ・平成27年度（1月末現在）町税等の調定及び収入状況について
- ・上川広域滞納整理機構による収納状況について（1月末現在）
- 引受件数 239件
- ・換価取立金額 4千929万8千227円
- 内比布町分 17件
- 274万4千933円
- ・住民基本台帳カード交付状況について
- 平成27年4月～12月末現在 3名

個人番号カード交付状況について
平成28年1月末現在 7名

《協議事項》

- ・比布町税条例の一部改正(案)について
- ・固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について
- 平成27年度一般会計補正予算(案)について
- 賦課徴収費15万2千円の減
- 上部機関負担金の減
- 戸籍住民基本台帳費 66万4千円の増
- 住民基本ネットワークシステム事業費の増
- 平成28年度一般会計予算(案)について

【保健福祉課】

《説明及び協議事項》

- ・平成28年第1回議会定例会提出議案
- 一般会計補正予算(案)について
- 社会福祉総務費 2千473万6千円の増
- 低所得高齢者臨時福祉給付金給付事業の増

障害者福祉費

470万1千円の減

更正医療費支給事業の減

障害者自立支援給付事業の減

減診療費

2千24万2千円の増

診療所業務委託事業の増

介護保険特別会計補正(案)について

介護サービス給付金

2千459万9千円の増

既定値の増

介護予防サービス給付費

588万7千円の増

既定値の増

その他

国民健康保険特別会計補正予算(案)について

一般被保険者療養給付金

1千717万7千円の増

療養給付費の増

後期高齢者支援金

473万2千円の増

支援金の増

返還金

504万7千円の増

国庫支出金等返還金の増

予備費

1千470万8千円の減

その他

後期高齢者医療特別会計予算(案)について

後期高齢者医療広域連合納付金 120万円の減

既定予算の減

介護保険条例の一部改正条例(案)について

平成28年度保健福祉課関係予算概要について

新しい介護予防・日常生活

支援総合事業(地域支援事業)にかかる規則の制定について

(平成28年3月及び4月施行)

① 比布町地域支援事業実施規則

② 比布町第1号事業支給費の支給に関する規則

③ 比布町訪問型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する規則

④ 比布町通所型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する規則

⑤ 比布町包括ケア推進協議会設置規則 他

【生涯学習課】

《報告事項》

- ・平成28年度児童生徒数と学級編成について
中央小学校
1年生20名
2年生24名
3年生37名
4年生18名
5年生25名
6年生24名
合計148名
 - 普通学級6 特別支援学級3
比布中学校
1年生32名
2年生27名
3年生30名
合計89名
 - 普通3学級・特別支援3学級
・比布町教育大綱について
- ### 《協議事項》
- ・平成27年度補正予算（案）について
スクールバス運営費
103万9千円の減
スクールバス運営事業の減
小学校管理費
148万円の減
維持管理費の減

中学校管理費

236万5千円の減

維持管理費の減

体育館改善センター管理費
114万円の減

管理事業の減

運動公園管理費

201万円の減

管理事業の減 その他

- ・平成28年度教育費関係予算（案）について
- ・比布中学校校舎等改築事業について

平成28年度以降に予算編成

【総務企画課】

《報告事項》

- ・第1回議会定例会提出議案について
- ・平成28年度地方財政対策について
- ・平成28年度各会計当初予算（案）について
地方創生対策について
人事評価制度について
新年度職員採用について

《協議事項》

第1回議会定例会提出議案について

ついて

- ・平成27年度補正予算（案）について
一般管理費

2千685万8千円の増

主に情報化促進事業費の増
財産管理費

1億328万5千円の増

基金積立事業の増
その他

その他

- ・条例等制定改正（案）について
比布町中心市街地観光交流施設設置条例の制定について
行政不服審査法の施行に伴う関係条例等の整備に関する条例

事務委託に関する協議
比布町私債権の管理に関する条例
その他 条例改正6件
比布町過疎地域自立促進市町村計画の策定について（平成28年から32年度）

- ・平成28年度予算概要
職員給与費
比布駅外構整備

移住定住対策について

- ・国の平成27年度補正予算関連事業
地方創生交付金事業について

自治体情報セキュリティ強化対策事業について

【議会事務局】

《協議事項》

- ・第1回定例会提出議案について
平成27年度一般会計補正予算（案）について
平成28年度一般会計（議会事務局・監査委員）予算（案）について
意見書について
- ## 【産業振興課から】
- ### 総務委員会報告事項
- ・スキー場再整備（仮称センターハウス）の概要について

◆◆◆ 議会のうごき ◆◆◆

2 月

- 11日 たけうち英順新春の集い (美瑛町、議長)
- 12日 上川教育研修センター組合議会定例会 (旭川市、議長)
- 16日 産業建設常任委員会 (役場、各委員・議長)
- 18日 上川町村議会議長会定期総会 (旭川市、議長)
- 19日 総務常任委員会 (役場、各委員・議長)
- 20日 比布商工会青年部50周年記念式典
並びに祝賀会 (改善センター、正・副議長)
- 29日 議会運営委員会 (役場、各委員・議長)

- 14日 比布駅看板設置 (比布駅、議長)
- 18日 第51回中央小学校卒業式 (中央小学校、全議員)
- 19日 社会福祉協議会評議員会 (福祉会館、議長)
- 25日 比布町農業協同組合通常総会 (改善センター、副議長)
- 大雪消防組合議会定例会 (美瑛町、各組合議員)
- 26日 くるみ保育園卒園式 (くるみ保育園、副議長)

3 月

- 1日 大雪浄化組合議会定例会 (役場、各組合議員)
- 愛別町外3町塵芥処理組合議会定例会 (役場、各組合議員)
- 7~10日 第1回比布町議会定例会 (役場、全議員)
- 9日 平成28年度予算特別委員会 (役場、全委員・議長)
- 11日 第69回比布中学校卒業式 (中学校、全議員)
- 13日 あさひかわ比布同郷会総会 (旭川市、議長)
- 「ささき隆博」ふるさとの集い (旭川市、議長)

4 月

- 2日 今津ひろし政経セミナー (旭川市、議長)
- 7日 中央小学校入学式 (中央小学校、各議員)
- 比布中学校入学式 (中学校、各議員)
- 12日 議会広報特別委員会 (役場、各委員)
- 18日 議会広報特別委員会 (役場、正・副委員長)
- 20日 産業建設常任委員会 (役場、各委員・議長)
- 議会運営委員会 (役場、各委員・議長)
- 第1回比布町議会臨時会 (役場、全議員)
- 27日 農協理事と産業建設常任委員会の意見交換会 (役場、各委員・議長)



ケーキがとてもおいしい
新比布駅『ピピカフェ』

◆ 編集後記 ◆

今年春の訪れが早く、田畑の融雪が進み、毎年の風物詩となった白鳥の飛来も例年より少しだけ早かった様に思います。大地が目覚まし、農家の春作業も天候に恵まれ順調に見受けられます。このまま秋まで平穏な天候を望むところです。

3月には待望の新比布駅舎が完成し、4月1日、カフェコーナーを含めた全面オープンとなりました。これから町民の通勤通学を見守り、また多くの出会いや別れを見つめ続け、皆さんに愛される施設となるよう期待しています。

比布町には色々な公共交通機関、道路があります。JR宗谷線をはじめ、道北バスは名寄、愛別方面の2路線。高速道路はインターチェンジとジャンクションがあり、旭川空港も近く、国道も二本通っています。近隣町村を見渡してもこれほど恵まれた町はありません。この利便性をもっと活かした町づくりができれば、というのが長年のテーマとなっています。

今年には北海道新幹線が開業し、北海道が新たな時代の一步を踏み出す年となりました。これを期にもう一度足元を見つめ直し、たくさんの可能性を秘めた町、比布の良い所を全国に発信できればと思います。

(武井 邦義)